

南アフリカ共和国は先進国

南アフリカ共和国はG 20（主要20ヶ国・地域）のうち新興経済国グループ11ヶ国（もともとのG 9に加わった）の一つだ。11ヶ国のなかには中国、インド、インドネシア、ブラジルなどの文字通りの新興国（文末※）が含まれることから発展途上国と見なされやすいが、すでに先進国ではないかと同国を旅行して感じた。かつてのアパルトヘイト政策で世界から孤立していた時代の困難から脱して久しいからなのだろうか。または、世界一豊富な鉱物資源の収入がなせるものか。

同国の首都は三つある。行政、立法、司法のそれぞれ首都だ。行政の首都は最大都市ヨハネスブルグの近郊のプレトリアという中規模の都市だ。その首都でジャカラ（11月、初夏）に日本から14,000km離れた同国

へ訪問した。

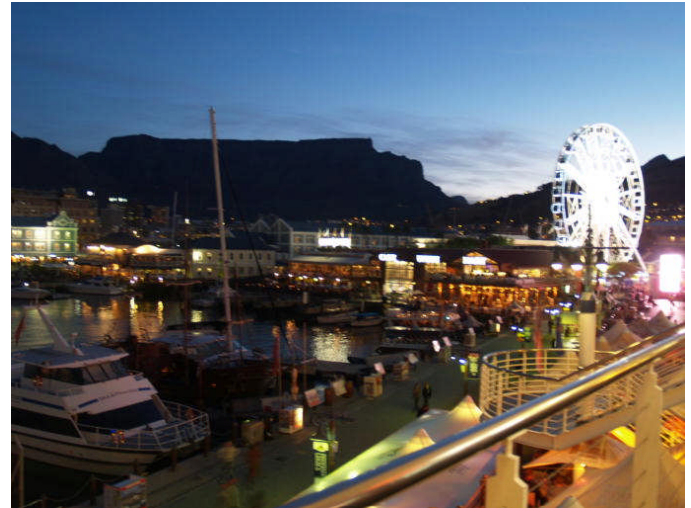
まずはヨハネスブルグ国際空港へ。まだ乾期だからな



のか、降下中の機上から見えるのはただ荒涼とした景色だ。サハラ以南のアフリカは初めてで、イメージにあった赤茶けた不毛の台地そのものだった。着陸後、駐機スポットまでの時間がかかることで空港の広大さを実感した。欧州方面からの二階建て航空機A 380が何機も見えるほか周辺各国の航空機も多彩だ。まさに南部アフリカの大ハブ空港だと推測できた。（写真にはヨハネスブルグ・タンボ国際空港、A 380三機が勢揃い）

700mの高原上とは違って平坦広大な土地をまつ、  
ぐに伸びている。プレートリア中心部に、フリーウェイだと  
街路状にいつの間にか変わっている。ただし、本  
線のように切れない道路が可能となる。たまたま、  
よバリアが何か建設中なので、そこでの料金を徴収し  
あればノーストッでも徴収可能なのだ。E T Cの技術で  
ンタウンは都市間とは別に主要道路の立体交差化が完璧  
だ。日本のように都市間と都市内の高速道路を直結する  
のは都市内渋滞の原因となることを再確認する。  
次の訪問地は立法の首都ケータウン。国土を北東か  
ら南西にまさに縦断するようになり、400km（ほぼ青  
森、鹿島間の距離）を国内線で移動したが、眼下には内  
陸、高原が延々と続く。集落とか農地・森林は見あたらず、  
まさには無人の荒野という印象だ。降水が少ないのと

人口密度が低いから、そう見えるのかも。ケータウン到着直前から海岸平野の都市部となる。着陸した  
ケータウン空港のターミナルビル近代性にビックリ  
させられた。同国開催2010年ワールドカップサッカー  
の置きみやげなのだ。ろう。空港から市の中心部を抜  
き、信号交差点はホテル直前だけだった。  
市の名前直訳の希望岬ではない。50kmの南北に長  
いケープ半島の南端にある。ちなみにはアフリカ大陸の最  
南端は東150kmのアガラス岬のほうだ。ケープ半島山  
地の最北端が同一市の中心になる。ケープ半島山  
市中心から、その地形は高松市か  
その台地状頂上は雲に隠れることが多い。形は高松市か



らの屋島（標高約300m）を想像してもらって結構だ  
 が、スケールのウオーターフロント（写真  
 は夕暮れのウオーターフロントを  
 トからテールブルマウンテンを  
 望む）  
 ドライプする。乾燥した山並  
 みの巖を縫うように行くのと、  
 片方は紺碧の大西洋の海原で、  
 まるで地中海沿岸を行く風景  
 が連なる。気候も地中海性気  
 候で、同国の地域の夏雨気  
 候と違い、夏に雨が少ない。  
 ちなみに、植物の種も同国他  
 の地域とまったく違う。とい  
 うより、世界のほかから隔絶し、ケープタウンを含む西

ケープ州の狭い一帯だけに特異なケープ植物区（世界六  
 大植物区の一つ）として指定・世界自然遺産となってい  
 る。（写真は固有種・国花のキ  
 ングプロテア）

大西洋沿岸の傾斜地は高級住  
 宅地となっていている。眺望と気候  
 のよさから別荘地にもなっ  
 らも金持ちの別荘地にもなっ  
 ている。ただ気になるとは、住  
 を囲む高い塀とその他の鉄条網  
 の存在だ。ガイドに聞くと、金  
 持ちを狙った侵入強盗の被害が  
 数多いとのこと。その防衛策を  
 完璧にとつてやると住めるよう  
 だ。



強盗の犯人は貧しい黒人が大部分だ。貧困から抜け出

せないから当然のように犯行に及ぶ。先進国なのになぜ？という疑問が湧くが、アパルトヘイト時代に差別されてきた黒人貧困層は教育をまったく受けていない。だからどのような職業にも就けない。都市部で唯一残る「職業」は犯罪しかない、ということだろう。教育の荒廃による貧困と犯罪問題は解決するのに先進国になってから

も長年月がかかるのだろう。行かなかったが、司法の首都ブルームフォンテンは内陸部、プレトリアとケープタウンの中間にある。最大都市以外に首都をおき、しかもその首都機能を国内各地に分散するというのは日本も模範にしてよい、と考えた。

※ G 9 は G 7 + E U + ロシアの 9 ケ国・地域。11 新興国には B R I C s と呼ばれる新興四大国（ブラジル、ロシアは G 9、インド、中国）が含まれ、さらに B R I C S と大文字になった S として南アフリカ共和国を含める考

えがあるようだが、同国はそれら面積人口大国とは違いうようだ。同国は面積は日本の三倍強、人口は五千万弱にすぎない。むしろ 11 のうちのサウジアラビアなどと似ているのだろう。